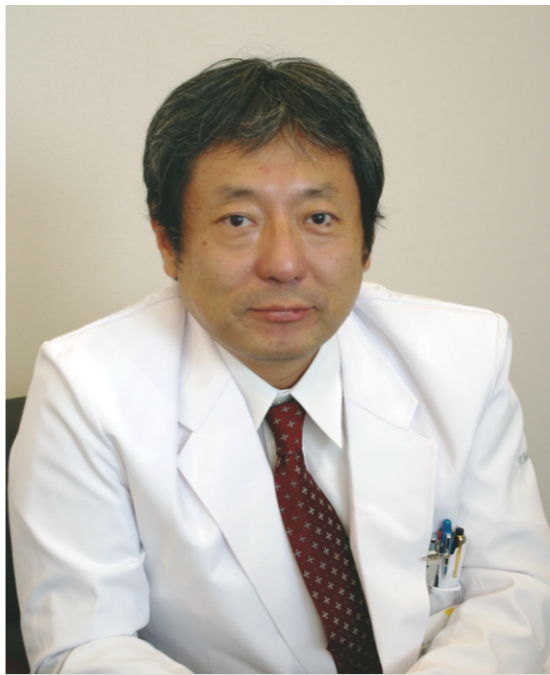


# 成長期の組織で 自らの理想型も追求し、 医師としての 手応えを実感してほしい。

イムス三芳総合病院は1977年に三芳厚生病院として開設。その後2007年に現在の名称に改称し、2013年には現在地に新築移転した。新築移転を機に、さらに救急医療に注力するとともに、地域密着医療の強化を図ってきた同院の、現在および今後について、院長の田和良行氏に聞いた。



イムス三芳総合病院 院長  
**田和良行** 氏 Yoshiyuki Tawa  
1989年 / 山梨医科大学(現・山梨大学)医学部 卒業  
1993年 / 山梨医科大学(現・山梨大学)大学院医学研究科 修了  
山梨医科大学附属病院(現・山梨大学医学部附属病院) 入職  
2006年 / 板橋中央総合病院 入職  
2015年4月 / イムス三芳総合病院 院長就任

## 地域医療を担う存在として 24時間救急医療体制を実施

埼玉県三芳町のほぼ中央に位置するイムス三芳総合病院。最寄り駅の東武東上線鶴瀬駅までは約2kmの距離があるが、駅前から同院まで1時間に3〜6本の無料循環送迎バスが運行しており、アクセスはスムーズだ。同院はこの三芳町および周辺エリアの地域医療を、40年近くにわたって支えてきた医療機関のひとつ。現在は二次救急医療機関として24時間の救急受け入れを実施している。

「私は、救急は医療の基本だと考えています。医療機関の患者へのサービスの原点は、医療を必要としている人を、必要としているときに受け入れ、治療をしてあげられること。それを忘れてはならないと思います」という田和氏。同氏は本年4月に院長に就任以来、24時間救急の体制強化に取り組んでいる。

「私自身、前任地では消化器内科の医師として24時間内視鏡対応のシフトに入り、必要に応じて血管造影なども実施してきました。医療は、地産地消であるべきだと考えていますから、そこにいる医師が、自分のできることを最大限にすることは、当然の責務であると思います」

## コミュニケーションを重視し 新しい病院づくりに取り組む

一方、しっかりとした体制が構築されていないければ、医師自身が疲弊してしまう、と語る田和氏。

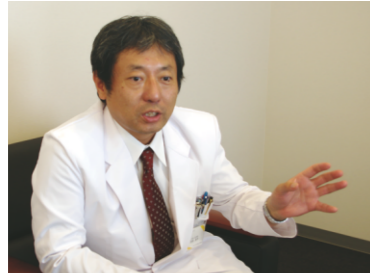
「時間をかけてでも、体制づくりを進めていくことが大切です。現状、当院では夜間の内視鏡・カテーテル検査・手術にいたるまで、まだまだ人員不足で、理想とは距離がある状況です。そこで、ぜひ新しい力に参加していただき、ともに救急医療、地域医療の確立に取り組んでほしいのです。そしてその過程では、院内での基本的なマニュアルやガイドラインを、さらに整備していく必要があるでしょう。その際、上からの一方的な方針で決めるのではなく、関わる医師、スタッフが存分にディスカッションをして、皆が納得して行動基準にすることができ、しっかりとした、決まりをつくりたいと考えています。幸い当院は、40年におよぶ歴史がありますが、一昨年の新築移転を契機に、新しい病院をつくりたいという息吹が生まれています。とても明るく風通しの良い雰囲気ですので、コミュニケーションも取りやすく、スムーズに新しい病院づくりに参加してもらえればと思います」

## 選ばれる病院を目指し、 チーム医療を強化

イムス三芳総合病院では、受付・事務・看護師・リハビリ・検査技師・放射線科技師等の各スタッフもそれぞれがプロ意識をもって業務に取り組んでおり、医師の動きをサポートしている。

「医師はこうしたスタッフとも連携を密にし、チーム医療を強化してほしいと考えています。地域で選ばれる病院になるためには、患者、家族の顕在化していないニーズもしっかりと拾い上げ、それに応えていくことが重要。また、わかりやすく説明することで納得できる医療を提供すること、そして安全・安心・確実な医療を提供することも大切です。それには医師からスタッフまでのチーム医療を核とした総合力の強化が欠かせません。その第一歩となるのが、やはりコミュニケーションだ

と考えています。私も医師やスタッフと、垣根をつくらずに話ができるよう心掛けていますし、当院には学問というようなものも全くないので、医師同士、診療科も越えて気軽に



に意見やアイデアを出してもらいたいですね。当院のような市中病院での医療は、地域に、そして世の中に役に立つ仕事です。その手応えを感じながらスタッフ共々伸び伸びと、楽しく仕事をしていきたいと思います」

## 自身の医療の理想型を 追求できるフィールド

このように組織的にもまだまだ成長期で、これから構築すべきことも多いというイムス三芳総合病院。田和氏は、医師に積極的に病院全体の質的向上に貢献してほしいと語る。

「診療の分野で実力を発揮していただきたいのはもちろんですが、安全・感染対策など病院として力を入れるべき点について、自分が良いと思うことをぜひここで形にしてほしいと思います。自身の理想型があれば、それを実現できるフィールドがここにはあります。経営に関する数字もガラス張りとなっていますから、積極的に関心をもっていただき、自由に意見やアイデアを出してもらいたいですね。当院のような市中病院での医療は、地域に、そして世の中に役に立つ仕事です。その手応えを感じながらスタッフ共々伸び伸びと、楽しく仕事をしていきたいと思います」



## イムス三芳総合病院

- 募集科目 / 脳外・整外・循内・呼内・麻酔・内科他 ● 給与 / 年収1,200万円～2,000万円(税込) ※経験年数・スキル・年齢等により優遇いたします。 ● 勤務時間 / 9:00～17:30 / 土曜日9:00～13:00 ● 勤務日数 / 週4.5～5日 ● 当直 / 回数相談可能 ● 業務内容 / 外来・病棟管理等 ● 休日 / 日曜日・祝日・土曜日午後・研究日・年末年始4.5日・夏季休暇(有休利用) ● 学会 / 学会参加費用補助あり ● 保険 / 各種保険完備 ● 待遇 / 交通費支給・転居費用・家賃補助あり・退職金制度あり ● 通勤 / 自動車通勤可 ● アクセス / 東武東上線「鶴瀬駅」西口から無料循環送迎バスあり(約7分) ● 勤務地 / 埼玉県入間郡三芳町大字藤久保974-3

☎049-257-3830 [事務長 中野] e-mail nakano.ryuji@ims.gr.jp

http://www.ims.gr.jp/miyoshisougou/